

新しい人生が動き出す

なかた かなえ
—CL を実践し続ける生徒さん—



私に与えられた有難い毎日

2016/03/11

図書館で働くのは緊張の連続です。でも、目の前のことをとにかく一生懸命にやろうとしています。朝は寒いけれど図書館へ行って働くという目的のために決まった時間に布団を剥いで、脱衣所に服を持って小走りに向かい、顔を洗うとコンタクトを付けます。着替えると化粧水を付けメイクをして、髪をとかし付け、有難いことに朝ごはんを母が用意してくれるので、食べて、コップに水を多めに入れてそれでクスリを飲み、(最近ではクスリを忘れそうになるので急いでいる時に注意を払います)余裕があるとピアスを付けて、コートを羽織るとポケットに手を入れて、手のひらで回すように携帯と定期を確認し家を出ます。母が仕事で居ない朝は鍵を掛けることを忘れてはいけません。

バスに乗り、降りる時まで慣れない定期を運転手さんに見せ、電車に揺られ、お弁当を買って歩いて図書館に向かいます。自動ドアを開けると、すれ違う職員さん達に、「おはようございます」と笑顔で挨拶して、エプロンとネームプレートを付けて、朝礼に出ます。それが私の一日の、始まりです。

書架整理が大分スピードが身に付いたと今日気付きました。それは無言の静かな努力による分が付いた力なのだろうから、無言で静かにそれを積み重ねた自分を褒めます。周りよりはまだ遅いので、嬉しくてもまた静かにまた努力する作業に自分を置きます。パソコン作業は頭が疲れます。しかし黙って積み重ねると終わりが見えます。その時また私は毎日新しい自分になります。

お昼休みは休息タイムで、机に突っ伏して眠ります。今日の休憩時間、非常勤職員さん達に「こっちにきてお菓子を食べないか」と誘って貰い、嬉しい、嬉しいと感じたのです。

今は仕事帰りにセンターで一緒だった友達と夕飯を食べる約束をしたので、カフェで待ちながらこれを書いています。私の人生が動き出したんだと、春はもうすぐな寒い三月に、淡々とした幸せな新しい毎日は私は今日も築いています。

一つ一つに一所懸命だから大丈夫

3/17

私は悩んでいました。季刊誌の記事が図書館で働くようになってから全く浮かばなかったからです。私は CL 的な日々を送ってないからきっと書けないんだ…とどうにも後ろめたい気持ちでした。でも一月からとにかく毎日一所懸命に働いていました。そんな時、小木先生からメールがありました。遠間さんから頂いたメッセージを転送して下さいました。「記事を楽しみにしています」との内容でした。

私は友達をカフェで待ちながら小木先生に最近の記事の書けないことを伝えようと、「図書館での

日々は緊張の連続です」と書き始めました。しかし、不思議に私の指は今日の振り返りをしようと動き始めました。朝起きて、着替えて、ああしてこうして、と書いている内に、図書館での二ヶ月が目の前に文字で姿を現しました。心の糸が解けるようでした。笑顔で挨拶。書架整理に集中して、パソコンで Excel を頑張って、毎日一所懸命過ごしているこの二ヶ月余りの自分を、初めて遠くから観たのです。とても安心しました。

毎日目の前のこと一つ一つに必死過ぎて、何も掴めていないような、何も学び始められていないような気持ちでした。働き始めた事を記事にする内容は、もっと かっこいい濃いものを書かなければいけないのではないかなと勝手に思っていたのです。

難しく考えなくても、行動を観察することはシンプルでそのままで良かった。犬が歩けば尻尾が揺れる。新しく歩き始める、目の前にあることを良く観察する、それを日常に繰り返し、ふとした時に積み重ねた事実を喜び、何かを感じ取る。そうして過ごしていくうちに成長出来たら良いと思いました。遠間さんと小木先生のメールのお陰で記事を書けただけでなく、自分の毎日に自信を持つことが出来ました。ありがとうございました。

春一頭でっかちに五感観察

4月の一歩手前、必死で仕事に励むことに日々集中していた私。それがベストな心意気だと感じていた。丁度明日は休みなので、友達と仕事帰りに待ち合わせてカラオケ に行った。随分とふざけて笑った後、いきものがかりの“花は桜 君は美し”を選曲して唄うと、画面に桜の花がひしめく。友達が、「中ちゃんちの周りに桜の木、ある？」と聞いてきた。私は「あるよ！」と即答。しかし「じゃあ咲いてるでしょ？」と言われて、あれ…？と私はフリーズした。あれ、今は3月の終わりで、普通なら桜が咲いて て…頭でばかり春を考える。「絶対咲いてるんじゃない？うちの周り咲いてるよ」と友達は言う。

私は次の日桜の木を朝みた。四分咲きくらい。そのまた次の日、仕事帰りに一駅手前で電車を降りて、ただの帰り道を春を見つけるための帰り道にして見た。桜は薄ピンク色に舞う。人はちょっと前より薄着で、表情は明るいように映る。空は曇り空だけれど、心無しか青空がちらつく。桜だけじゃなくて、気付かぬうちに花は咲いていて、薄い水色、黄色い花。さっきよりも濃い、黄色い花。パンジーも咲いていた。紫と黄色のパンジーを見ていると、小学生の頃に着ていたジャンパーにこんな感じの色があった事を思い出して、心の中に懐かしい風が吹く。

外には、仕事のことで頭デッカチになっていた私をヨソにこぼれて落ちそうな春があふれていた。私は季節に置いて行かれないように、自分をゆっくりと歩かせる。頭で行き詰まる時は、五感を使って生活しよう。

(千葉県千葉市CLインストラクター/小木晴代：相談室メールアドレス h-ogis8docl@tbz.t-com.ne.jp)

 [目次へ戻る](#)